

【教育目標】地域を愛し、夢と希望を持ってたくましく生きる子どもの育成

HOMETOWN HISAWA EDUCATION ～学びの本拠地・検沢 平成29年4月11日(火)

桜っ子だよ！

検沢小学校学校だよ！ No.1

文責：校長 星 俊 夫

平成29年度がスタートしました。どうぞよろしくお祈りします！



歓迎のことは 阿久津志童くん

お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。ようやく春の気配を感じられるようになり、新しい1年生と教職員を迎え、たくさんの出会いとともに新年度がスタートしました。

子どもたちは、それぞれに「進級」をきっかけとして、様々な人たちや出来事と出会い、夢や希望を持つようになります。最高学年として始業式・入学式の準備や歓迎の挨拶等をした新6年生はじめ、他学年の子どもたち全員が進級の喜びとともに、たくさんの笑顔で新入生を迎えてくれました。

1年生は、一人一人しっかりあいさつができました。また、子どもたちが歌う校歌は、目をして聴いていると何百人もいる学校の校歌に聞こえてきます。子どもたちのさわやかで元気な姿に感動した入学式でした。

さて、今年度の「学校経営・運営ビジョン」は次のようになります。児童像を新しくしました。

ひととして豊かに育つ子 さわやかで元気な子 わかろうと学び合う子

平成29年度 南会津町立検沢小学校 学校経営・運営ビジョン
Hometown Hisawa Education



<学校像>

- 夢や希望を持ち、生き生きと活動できる学校
- いじめのない学校
- 助かれた信頼できる学校
- 学校自慢がいっぱいの学校

<教員像>

- 子どもを愛する教師
- 研修に励む教師
- 強い信頼感を持った教師

教育目標

地域を愛し、夢と希望を持ってたくましく生きる子どもの育成

児童像

ひととして豊かに育つ子 さわやかで元気な子 わかろうと学び合う子

- ### <教育関連法規等>
- 憲法、教基法、学教法他
 - 福島県復興計画
 - 県第6次総合教育計画
 - 南会津夢教育2017
 - 南会津町教育大綱

笑顔かがやけ検沢の子

<みんなの願い>

- 南会津町「次世代の地域を担う人材の育成」
- 自ら学ぶ人
- 町を愛し、思いやりのある人
- 伝統文化の継承と地域に誇りの心が伝わる人
- 夢をもち、しなやかに成長し、みんたと協力しあっている人
- 健康で、学びの心を持つ、たくましく生きて伸ばす子どもを育てる
- 教師像：学習や生活を通して、信頼感を持ちながら伸びる子どもを育てる

礼儀正しく、まっすぐな心を育てます

- 1 生命・人権尊重最優先の学校づくり
 - * 道徳教育の充実と実践化への指導
 - * 基本方針に基づいたいじめ防止の徹底
 - * 合理的配慮に基づく個への支援
- 2 社会性を育む教育活動の充実
 - * 社会貢献意識を高める体験活動の充実
 - * 人との関わりを大切にしながら日常指導(あいさつ・マナー)
 - * 縦割り班活動の充実
- 3 よさを認め合い、支え合う学校・学級づくり
 - * 互いのよさを認め合える学校・学級経営 [善皇コナ の実践と活用]
 - * 深く多面的な児童理解と教育相談の充実
- 4 基本的生活習慣の定着
 - * 「検沢小のよい子」の実践
 - * 家庭との連携(ノーマメディアデー、子育て)

心身ともに健やかで、最後までやり通す力を育てます

- 1 運動に親しみ、バランスのとれた体力づくりの推進
 - * 運動身体プログラム(桜っ子運動)の実践
 - * 体育的行事の充実
 - * 業間運動(プログラムの上天)の推進
- 2 食育を柱とした健康づくりの推進(家庭との連携)
 - * 給食指導の充実
 - * 各教科・領域における食に関連する指導の充実
 - * 健康課題の把握と個への対応(むし歯・アレルギー等)
 - * 家庭・地域との連携による健康づくり
- 3 安全・安心のネットワークの構築
 - * 生活安全、交通安全、災害安全の環境作りと指導の充実
 - * 家庭・地域との連携及び情報共有
 - * S.C.S.S.Wや専門機関等との連携

自分の考えを進んで表現し学び合う力を育てます

- 1 基礎学力の向上
 - * 自主的態度の育成(聞く、話す、書く)
 - * 基礎基本の定着を図る「はげみタイム」の充実
 - * 家庭と連携した家庭学習の習慣化(家庭との連携)
- 2 「分かる・できる・使える授業」の実践
 - * 個に応じた指導の充実
 - * 言語活動の充実
 - * 英語教育の環境整備
- 3 地域の教育資源を生かした特色ある活動
 - * 地域素材・人材を積極的に活用した授業の工夫
 - * 郷土の伝統と文化に関する教育の充実
- 4 読書活動の充実
 - * 朝の読書や読書週間の充実(家庭との連携)
 - * 図書ボランティアとの連携

チーム検沢(目標・ビジョンの共有、具体的実践)

家庭・地域との連携・協働 [安全・安心な教育環境の整備、社会性の育成、地域人材・自然・施設の積極的活用]

☆ 笑顔かがやけ検沢の子！ HOMETOWN HISAWA EDUCATION ～学びの本拠地・検沢



食は健康の根っこ

本校は、子どもたちの心身の健やかな成長の基礎となる『食』の重要性を認識し、食育を健康・安全教育の重要な柱の一つとして、教職員の共通理解のもと、各教科及び領域と関連付けながら日常の給食指導の充実に努めるとともに、家庭・地域の参画による多様な子どもたちの体験的学習をとおして、食の知識を深め、自ら望ましい食生活の実践力を育てたいと考えています。

さらに、地域の自然の恵みへの畏敬、長い歴史ある食文化の理解

や食に関わる人々への感謝の心など食育の実践をとおして地域を愛する豊かな心を育てたいと考えます。

豊かな自然が広がる地域ですが、平成27年9月には、豪雨による河川の氾濫により公道に架かる橋がいくつも流され水田に土砂が流れ込むという大災害が発生しました。そのような状況の中でも地域の方々は、変わることなく学校を支えてくださいました。

これまで人々が創り上げてきた温かな風土には、たくましさがあると感じています。そんな地域の力を教育活動に織り交ぜて、子どもたちの生涯にわたる「生きる力」を育てていきたいと考えています。本校食育の実践は、そんな願いが込められています。

生命の大切さ(人権尊重) を子どもたちと共に！

始業式・入学式の中で、命の大切さについて話しました。命より尊い物はない。子どもたち一人一人をはじめ生命ある存在がかけがえのないものであることを、子どもたちに繰り返し問いかけながら、私たち大人もしっかりと自覚し教育にあたりたいと考えます。命を大切にすることとは、思いやりや優しさという人間性の根幹に直接結びつく行為です。家族や友だちなど、いつでもどこでも、だれにでも温かく接することのできる豊かな心を育むことが、将来子ども達自身の「生きる支え」になってくることは間違いありません。4月はまず、交通事故などに遭わないよう、安全な登下校のし方をみんなで再確認しましょう。朝の登校の様子を見ていますと、どの班も上級生が下級生のことをよく面倒見て、あいさつも明るく返してくれるので、すばらしいなあと思いました。

平成29年度 職員紹介(5名の新しい先生方がきました。)

校長	教頭	一年担任	二・三年担任	四・五年担任	六年担任	三年教科指導	五年教科指導	担任 ひまわり学級	養護教諭	主事	支援員	支援員	用務員
星俊夫	石川淳	河瀬桂子 (田島小より)	小林美恵子	本田政史	佐川敬 (白河市みさか小より)	大竹香	梅宮弘子	湯田美枝 (籠岩小より)	渡部みゆき	星香 (檜沢中より)	高橋公子	長谷川貴司 (荒海小と兼務)	星千恵